



問合せ先
第二管区海上保安本部
交通部航行安全課長 江野 徹
022-363-0111(内線 2620)

平成30年4月23日
第二管区海上保安本部

霧の多発シーズン到来!!

『霧海難防止運動』を実施します。

～ 4年連続の霧海難“ゼロ”を目指して～

東北地方太平洋沿岸においては、5月から8月にかけて霧が多発することから、濃霧による視界不良時における衝突や乗揚げ海難等が発生する蓋然性が高くなります。

このため、第二管区海上保安本部では、これから霧の多発時期を迎える東北地方太平洋沿岸における「霧海難ゼロ」を目指し、官民一体となって「霧海難防止運動」を実施します。

1 実施期間

平成30年5月1日(火)から8月31日(金)まで

2 実施内容

(1) 霧情報の観測(資料1、2)

官民連携により充実した霧の観測体制を構築

- ・むつ小川原国家石油備蓄基地事務所、フェリー、AIS搭載船舶
- ・太平洋側各海上保安部及び巡視船艇

(2) 霧情報の提供(資料1、2)

観測した霧情報を、官民連携により幅広い手段にて提供

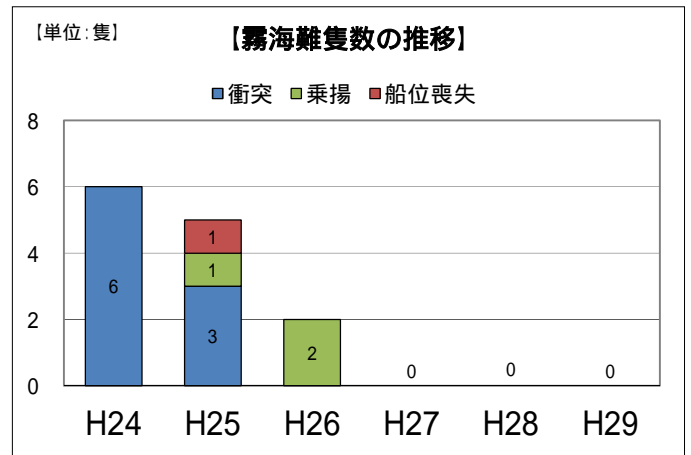
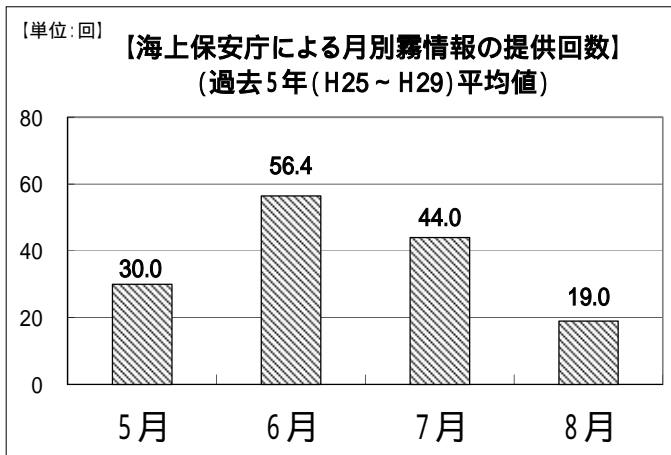
- ・海の安全情報
- ・国際VHF無線電話
- ・AISメッセージ
- ・NHKや地方のFM放送局からのラジオ放送
- ・漁業無線局

(3) 啓発活動(資料3、4)

リーフレットを活用した各種啓発活動を実施

- ・海上保安官による訪問指導(船舶、船舶代理店、漁協等)
- ・海難防止講習会の実施 (漁業者、小型船舶操縦者等)

過去5年間における霧情報の提供件数及び霧海難の発生状況



用語について

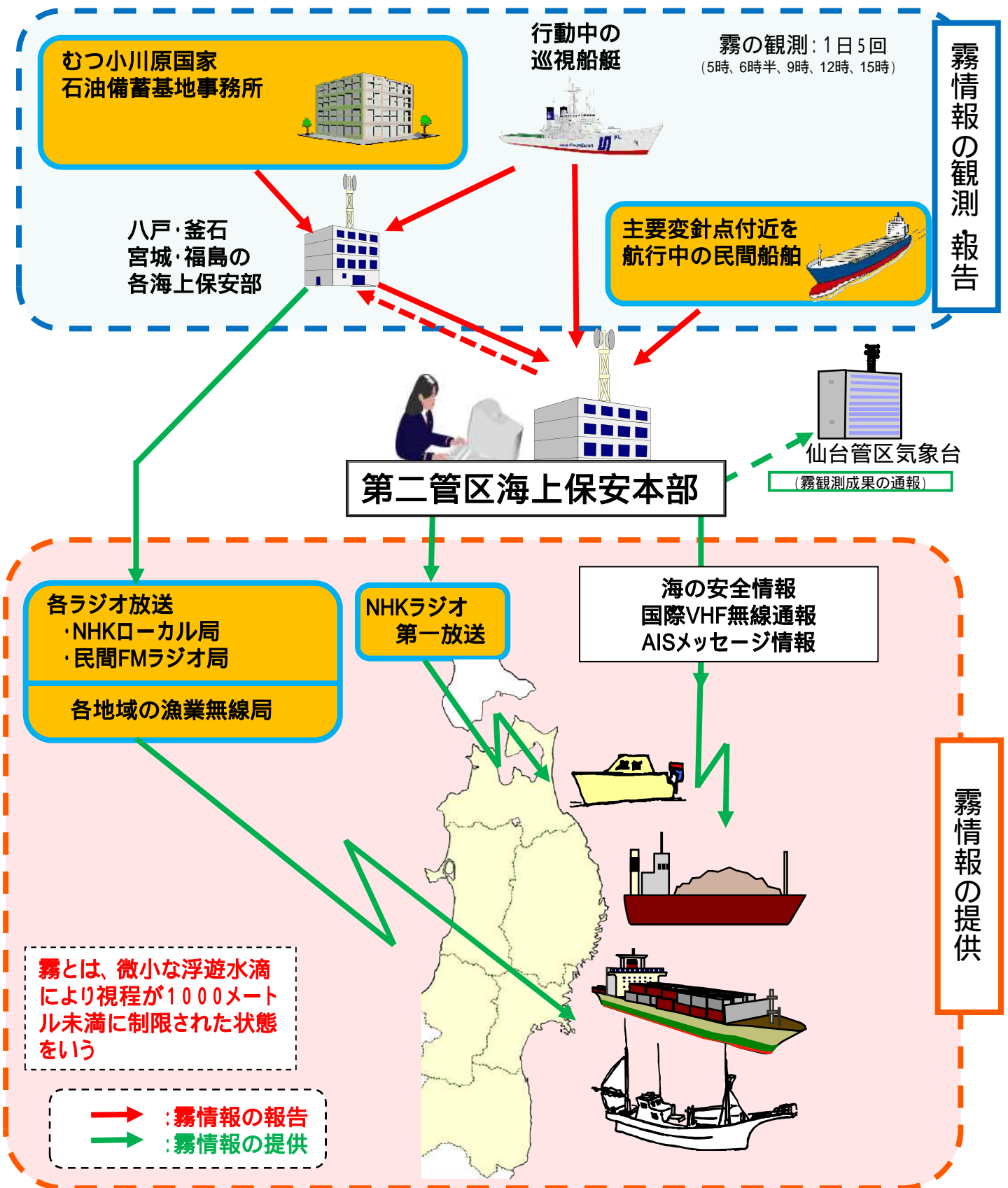
- 霧海難とは、霧発生時(視程1,000m未満)に発生した衝突、乗揚げ及び船位喪失(視界不良などの原因で自船位置がわからなくなる)による船舶事故をいいます。
- AIS(船舶自動識別装置)とは、船名、現在位置などの情報を自動的に船舶間やAIS陸上局と送受信する航海用機器であり、AIS搭載船舶はAIS陸上局からのメッセージ情報を自動的に受信することができます。
- 海の安全情報とは、一般船舶やマリレジャー活動等の海域利用者に対して、インターネットや携帯サイトを通じてリアルタイムに提供している、気象・海象情報、緊急情報等の海の安全に関する情報です。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/> (インターネット)
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html> (スマートフォン)
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html> (携帯電話)
- 漁業無線局とは、漁船が漁業のために使用する漁業用の沿岸無線局をいいます。

参考資料

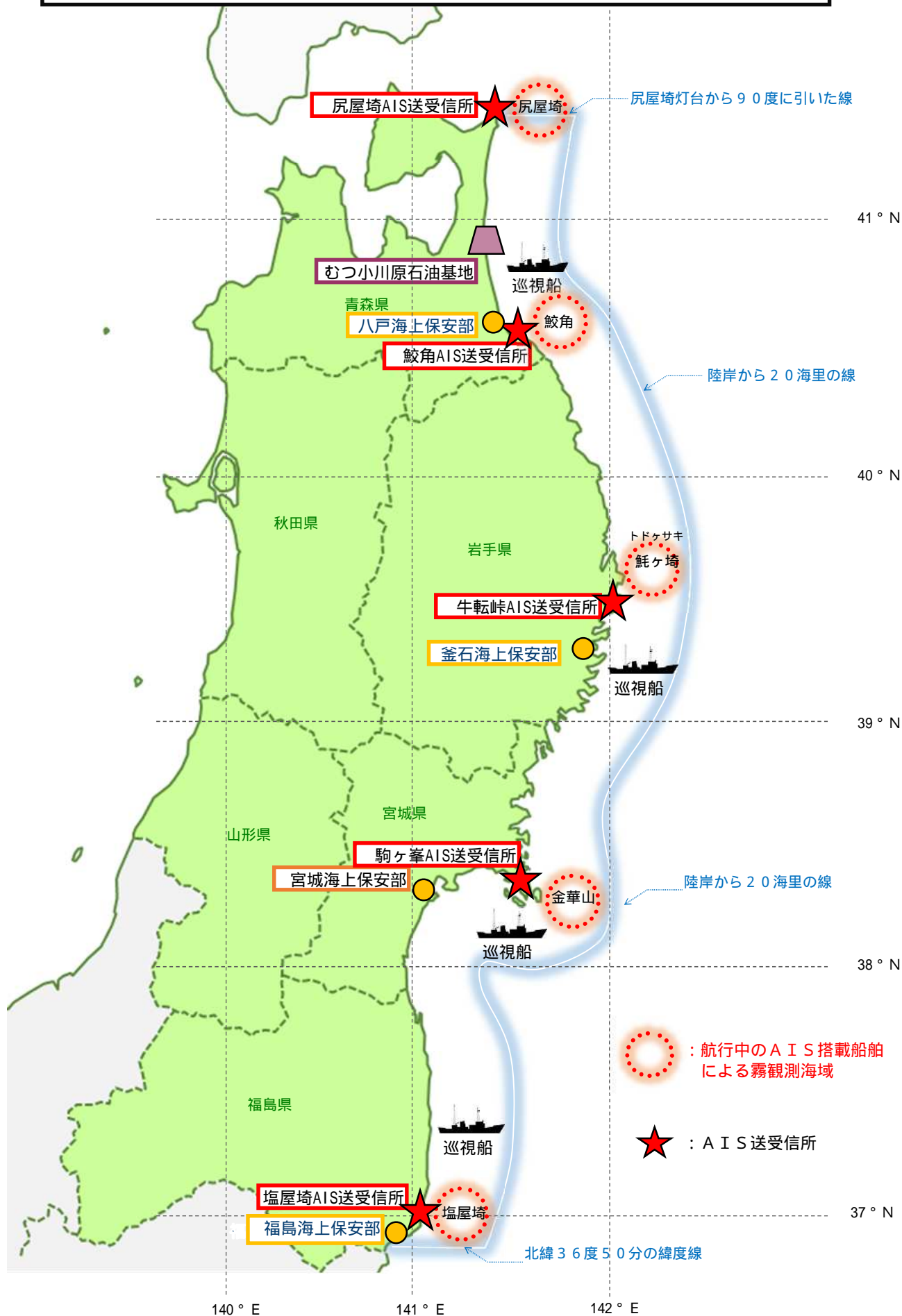
- 資料1 霧情報の観測・提供
- 資料2 霧海難防止対策実施海域及び観測機関位置図
- 資料3 霧海難防止運動リーフレット
- 資料4 霧海難防止五戒(日本語・英語版)

霧情報の観測・提供

資料1

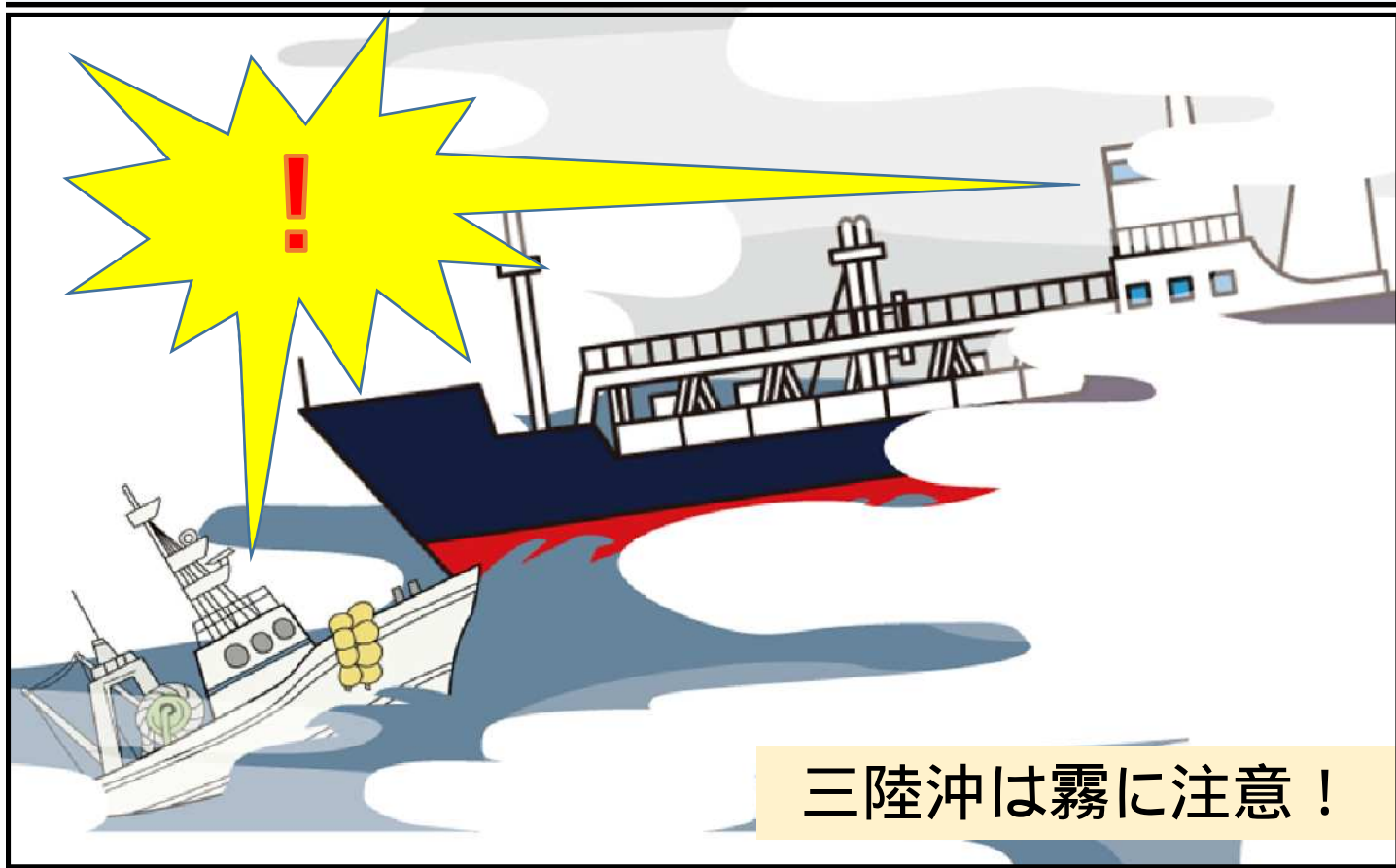


霧海難防止対策実施海域及び観測機関位置図



霧海難 防止運動実施中！

平成30年 5月1日～8月31日



- ・見張りの強化
- ・安全な速力
- ・早目の避航
- ・霧中信号の励行
- ・霧情報の入手

無線(CH16)の
常時聴取も大事！



霧海難防止五戒

一.見張りを強化すべし

五感を駆使した見張りの励行 レーダーを適正に利用し見張りの強化
見張り員の増員配置や、自船位置の常時把握

二.安全な速力とすべし

船舶交通の輻輳度など四囲の状況を考慮した安全な速力の励行

三.早目に避航すべし

他の航行船と複雑な見合い関係を生じさせない操船の励行
航法を遵守するとともに、十分余裕のある時期に大幅な避航動作の励行

四.霧中信号を励行すべし

霧による視界制限時での霧中信号の励行

五.霧情報を入手すべし

国際VHF、MICS等を活用し、霧情報入手の励行

I will take care.
FOG WARNING!!

海の「もしも」は118番

JAPAN COAST GUARD 第二管区海上保安本部

Prevent the fog accident

1. Strengthening watch

Keep watch around your ship carefully
Using radar and proper autopilot system for the watch
Increase the watchmen and check your position always

2. Safe speed

Keep the safe speed and prepare for emergency measures include engine-stop, etc.

3. Keep the safe distance to other vessels

Alter your course for safety before the dangerous position to other Vessels
Follow the regulation and alter your course in early stage enough to avoid the accident

4. Use of the fog-signal

You shall give blasts properly on your whistle under the restricted visibility to alert the vicinity vessels to avoid the danger.

5. Get the fog information

You shall change your navigation plan includes stop the vessel when the visibility is restricted by heavy fog and it is not enough for safety navigation in accordance with the Operation standards. Useful information, as fog and meteorology provided by JCG, protects your safety.

I will take care.
FOG WARNING!!

JAPAN COAST GUARD 2nd Regional Coast Guard Headquarters

日本語、英語版のほか、
中韓露、計5ヶ国語のリーフレット